

株式会社 HOIPOI

ブロックを組み合わせる開発ツール「TALON」に JDBC Drivers を組込み
～クラウドデータ連携、IoT、ビジュアライズ機能をワンプラットフォームで提供可能に～

Web ベースの業務アプリケーションの超高速開発ツール「TALON」のクラウド・ビッグデータソース対応に CData JDBC Drivers が採用されました。昨今企業の DX(デジタルトランスフォーメーション) のニーズが高まるなか、クラウドサービスや NoSQL とのデータ連携、IoT システム、ブラウザでのリアルタイムビジュアライズなどの先進的な要件を TALON ひとつで開発できるようになりました。

Challenges

- ・オンプレ + クラウドをユーザーが併用する時代のクラウドデータ連携機能
- ・IoT データの統合機能やビジュアライズ
- ・ブロック開発 & SELECT クエリでの実装

Solutions

- ・150+ の JDBC Drivers を TALON に組込み
- ・標準 JDBC Drivers でブロックごとに異なるデータソースを設定可能に

TALON の開発者でもある HOIPOI の古関代表にお話を伺いました。

Q: Web 業務アプリ開発ツール「TALON」とはどんなツールですか？

古関氏：TALON は、Web ベースの業務システムを高速で開発できるツールです。通常の開発ツールと異なる点として、TALON は、アプリケーションをブロック (= データオブジェクト) として定義し、組み合わせて利用するブロック開発方式(日米特許取得済み)を採用しています。これまでの業務システム開発は、「機能」に焦点をあてて開発プロセスを組んでいました。どんな機能を実装するかを決めて、その後に画面やデータモデルを作る方法です。TALON では、ブロックとしてデータオブジェクトと画面を同時に作ることができ、ユーザーと開発者がプロトタイピングを行なながら仕様の確認を行っていくことが可能になります。

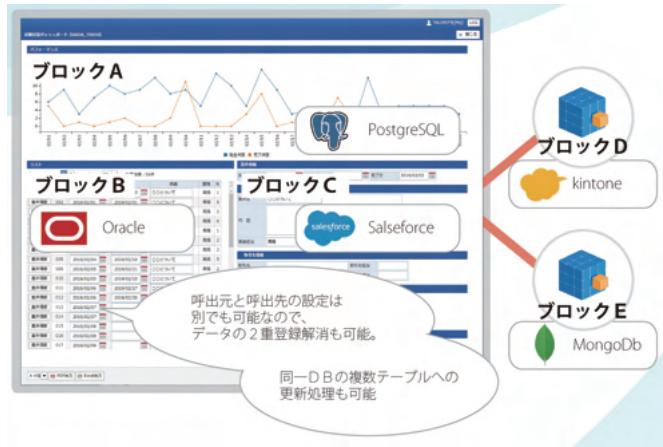


HOIPOI 古関代表

Q: TALON の新バージョンでクラウドやビッグデータ対応を行われた背景は？

古関氏：TALON で基幹の業務モジュール開発と DX 案件の開発を一つのプラットフォームで実現したかったということに尽きます。近年、お客様の業務アプリ開発の方向性が大きく変わっています。DX といわれるように基幹システムの枠内での機能追加ではなく、IoT や利用しているクラウドサービスとのマッシュアップといった前向きな開発案件が多くなっています。

例えば、工場で IoT を使ってセンサーからデータをストリーミングで取得し、既存 RDB の情報と合わせてビジュアライズする、というケースがあります。これを従来のシステムで実現するには、IoT からのデータは開発ツールで構築し、既存 RDB データとセンサーデータの統合には別途 ETL ツールを導入、ビジュアライズは BI ツールを導入、など複数のシステムの導入とその連携が必要でした。個別の要件に専門的なツールを導入してしまうと、オーバースペックになりがちです。TALON がクラウドデータソースや NoSQL に対応することで、このような案件を TALON プラットフォーム一つで開発・運用できるようにすればユーザーの開発効率や利便性が高まると思いました。



オンプレ & クラウドデータのブロックを組み合わせて利用



マンガでわかる超高速開発ツール TALON

https://www.talon.jp/manga/manga001_web.php

Q: CData JDBC Drivers を選んだポイントは?

古関氏：TALON と CData JDBC Drivers の相性が抜群に良かったからです。TALON の開発は前述のブロック型になっており、ブロックごとに異なるデータベースを扱うことができます。それぞれのブロックではデータソースから SELECT クエリでデータおよびスキーマを取得して取得したスキーマに対して書き込み処理を含む実装を行います。JDBC Drivers はピュア Java Type 4/5 準拠であること、SaaS や NoSQL を標準 SQL で CRUD できるデータモデルであることにより、RDB データソースを扱う TALON の仕組みをそのまま使って 150+ のクラウド対応ができました。

Q: 実際に JDBC Drivers を使われた感想は?

古関氏：TALON への JDBC Drivers の実装は数日できてしまいました。開発というより設定だけをしたという方が正しいです。にもかかわらず、そのシームレスな操作感は、TALON 向けにカスタムでコネクタを作ってもらったかのようです。

開発リソースは、センサーデータをストリーミング表示できるグラフ、異なるブロック間のデータ挿入やロックアップ機能、ガントチャートなどに注力させることができました。



CData は、米 CData Software, Inc. の登録商標です。他社製品名などは各社の商標です。